

○環境にやさしい資材の活用により労力低減が期待できます。

【生分解性マルチの取り組み】

<生分解性マルチ導入のねらい>

- 収穫後に土中にすき込むため、面倒なマルチ除去の手間が軽減され、**労働時間が短縮される**ことにより、**農地の規模拡大**につながる。
- 通常のマルチで発生する**廃棄物処理の手間・費用を省く**ことができる。

<生分解性マルチに適している作物>

作物	特徴
トウモロコシ	面倒なマルチ剥ぎ取り作業が省けます。
サトイモ	マルチを剥がなくても土寄せができます。
さつまいも	マルチを剥がなくてもツル刈り機や収穫機が使用できます。
エダマメ	マルチ切れや絡みを気にせず収穫できます。

<本会取扱実績>

H30年度	R1年度	R2年度
5,000本	6,000本	6,400本

<今後の取り組み>

- 生分解性マルチの導入により、トータルコストの低減をはかることは可能であるものの、生分解性マルチ自体の価格が高いため、産地にて導入に至らないケースが多い。
- 栽培試験用マルチの提供等を通じて、生分解性マルチの性能確認を実施し取扱い拡大に取り組む。



マルチ除去不要



鋤き込み前

鋤き込み後

天然物系 農業用生分解性マルチフィルム

さえ太郎Z

環境にやさしい省力化資材

さえ太郎Zのおすすめ3大ポイント

- 1 薄くて丈夫! ◀■■■■ **機械作業が可能!!**
- 2 土中に鋤き込むので剥ぎ取りが不要! ◀■■■■ **作業省力化!!**
- 3 土中で水と炭酸ガスに分解! ◀■■■■ **自然にやさしい!!**